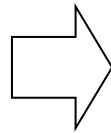


1回目追肥（越冬直後追肥）の目安

【過剰】 700本/m²以上 (210本/m)



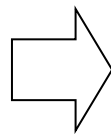
<基肥一発肥料を使用したほ場>

- ・黄化が見られる場合は2月中旬にNK17号 6kg/10a (※黄化がない場合、同時期は追肥無し)
- ・3月下旬にNK17号 12kg/10a

<分施肥体系>

- ・2月中旬にNK17号 18kg/10a
- ・3月下旬にNK17号 12kg/10a

【やや過剰】 600～700本/m² (180～210本/m)



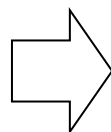
<基肥一発肥料を使用したほ場>

- ・黄化が見られる場合は2月中旬にNK17号 12kg/10a (※黄化がない場合、NK17号 6kg/10a)
- ・3月下旬にNK17号 12kg/10a

<分施肥体系>

- ・2月中旬にNK17号 18kg/10a
- ・3月下旬にNK17号 12kg/10a

【適正な生育量】 400～600本/m² (120～180本/m)



<基肥一発肥料を使用したほ場>

- ・2月中旬にNK17号 18kg/10a
- ・3月下旬にNK17号 12kg/10a

<分施肥体系>

- ・2月中旬にNK17号 25kg/10a
- ・3月下旬にNK17号 12kg/10a

雑草対策

(1) 本田内の処理

	薬剤名	10a 当たり 使用量	希釈 水量	使用 回数	使用時期
カラスノエンドウ対策	アクチノール乳剤	150ml	100 リットル	2回 以内	穂ばらみ期まで (カラスノエンドウ2～3葉期まで)
スズメノテッポウ対策	ハーモニー75DF 水和剤	10g	100 リットル	1回 以内	節間伸長前まで (スズメノテッポウ5葉期まで)

※本年は暖冬年で雑草の生育が旺盛です。散布適期を逃さないようにしましょう。

また、大麦の生育も早まっていますので、使用時期に注意してください。

(2) 畦畔処理

◆畦畔等圃場内周縁部の雑草には、播種前の圃場内散布を含めプリグロックスLで4回、バスタ液剤で3回、タッチダウン iQ で3回、ラウンドアップ マックスロートで3回使用できます。飛散に注意してください。

※タッチダウン iQ とラウンドアップ マックスロートは同じ成分が含まれるため、2剤の合計で3回まで使用可能。

排水対策と適期に追肥を実施しましょう！

12月以降、気温は平年より高く推移しており、降水量、積雪量は平年より少なくなっているため、生育が早まっています。

今後は、排水溝の点検による排水対策と生育状況に応じた追肥を行い、穂数確保に取り組ましよう。

1. 排水対策

ほ場内の停滞水は、根の伸長が阻害され生育不良につながります。停滞水が見られる場合、すみやかに排水できるよう排水溝の点検整備を徹底し、湿害防止に努めましよう。

2. 越冬後の追肥

● 越冬直後の茎数が不足～適正の場合：越冬直後の追肥によって、穂数増加が期待できます（平均気温4～5℃に達する頃に追肥）。NK17号を12kg/10a施用してください。

● 越冬直後の茎数がやや過剰～過剰の場合：やや過剰で葉の黄化が見られる場合にはNK17号を12kg/10a、過剰で葉の黄化が見られる場合は6kg/10a施用してください。

なお、積雪がある場合には融雪後、排水を徹底してから速やかに施用してください。

● 3月下旬の追肥：登熟（粒厚）向上をねらって3月下旬にNK17号12kg/10a追肥ましよう。

※施肥の過多や遅れは硝子粒の発生が危惧されるので、量と時期は守りましよう。

（1）基肥一発肥料施肥

越冬直後	施用時期	2月中旬（消雪直後または日平均気温4～5℃以上）	
	生育状況 （裏面参考）	不足～適正（600本/㎡未満）	NK17号 18kg/10a
		やや過剰（600～700本/㎡） ※葉の黄化が見られる場合	NK17号 12kg/10a
		やや過剰（600～700本/㎡） 過剰（700本/㎡以上） ※葉の黄化が見られる場合	NK17号 6kg/10a
		過剰（700本/㎡以上）	追肥なし
◎ほ場内で生育にバラツキがある場合は、部分的な施用にしてください。			

施用時期	3月下旬（出穂の10日前頃まで）	
施用量	対象：全圃場	NK17号 12kg/10a
	◎必ず施用する。 ◎過剰施肥や施肥時期の遅れは、白度の低下や硬質粒の発生につながるの で注意してください。	

（2）分施肥体系施肥

越冬直後 1回目	施用時期	2月中旬 （消雪直後または日平均気温5℃以上）	
	生育状況 （裏面参考）	不足～適正（600本/㎡未満）	NK17号 25kg/10a
		やや過剰～過剰 （600本/㎡以上）	NK17号 18kg/10a
止葉展開期追肥 出穂10日前まで 2回目	施用時期	3月下旬 （出穂の10日前頃まで）	
	施用量	NK17号 12kg/10a	
	◎必ず施用する。 ◎過剰施肥や施肥時期の遅れは、白度の低下や硬質粒の発生につながるの で注意してください。		

